

城下まちづくり 通信

第20号



2026年(令和8年)がスタートし、2か月余りが過ぎました。城下地域の皆様には、お元気にてお過ごしのことと存じます。

本年は、城下まちづくり未来会議発足し9年目を迎えます。城下地区9自治会と連携・協働して地域の人々がお互いを支え合い、笑顔あふれる城下地域を目指し努めてまいりたいと思います。

皆様の更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。本号では、令和7年10月以降の主な取り組みについて報告いたします。

第3回 城下消防まつりを開催しました

令和7年10月19日城下小学校校庭を会場として、第3回城下消防まつりが行われました。

城下小学校金管バンドの皆さんの素晴らしい演奏で始まり、まつりのスローガン『城下地区の防火・防災について楽しみながら考えよう』のもと、来場者数702人、役員関係者126人、総数828人多くの皆様にご参加いただきました。

昨年に引き続き上田市の「活力あるまちづくり支援金事業」の採択を受け、上田市消防団、中央消防署・南部消防署、第6・第7分団他、多くの団体・関係者のご支援、ご協力をいただきました。

消防まつりは「体験型防災訓練の場」、住民の防火・防災意識の啓発、消防団第6分団のアピール、新入団員の確保に向け、取り組むことができました。



城下小学校金管バンド演奏



はしご車試乗



防災用品等展示コーナー



放水体験



AED取扱い体験



煙体験



六文戦士ウエイダー



台風19号パネル展示



ポンプ車展示・可搬積載車試乗



フードコーナー（第6分団OB会）



城下あいさつ・声かけ運動（令和7年11月4日）

令和7年度第2回目の城下あいさつ・声かけ運動が、城下地域の交差点ほか自治会指定の場所、保育園、学校関係、福祉施設等で一齐に実施されました。

朝の気持ち良いあいさつを通して、笑顔があふれ元気に一日が始まりました。「あいさつで明るい未来のまちづくり」に向けて、家庭、保育園、学校、地域などのつながりが深まりました。



上田市議会環境建設委員会テーマ別車座集會に参加

令和7年11月10日上田市役所において、上田市議会環境建設委員会が主催し、市内13地区の住民自治組織を対象とした「テーマ別車座集會」が開催されました。城下まちづくり未来会議からは、増澤会長他2名の役員が出席しました。

車座集會はグループ別に行われ、城下まちづくり未来会議は、川辺泉田地区、神科地区及び豊殿地区の住民自治組織のグループに入り、「住民自治組織の活動状況と、活動における課題等」のテーマについて意見交換をしました。

各住民自治組織からそれぞれの地域の特色を生かした事業活動の様子が発表され、課題解決に向けての取り組み事例を共有化することができました。今後の城下地域のまちづくりの活動に参考となる有益な車座集會となりました。





御所沢防災調整池が完成

御所沢防災調整池の工事が完了し、土屋陽一上田市長のご臨席のもと、令和7年11月15日に完成式典が行われました。調整池整備に際しご協力、ご支援いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

調整池の整備等の経過、概要について

- 御所自治会内に位置する御所沢については、台風や集中豪雨に伴う出水により、隣接地への溢水被害や市道の冠水、更に溢水した雨水が六ヶ村堰用水路等へ流入し、下流域で浸水被害を引き起こすなど長年にわたり治水上の課題となっていました。
- こうしたことから、平成21年の城下地区自治会連合会からの長野県や上田市への防災対策に係る要望活動に始まり、令和元年台風19号被害時での土屋陽一上田市長の現地視察などを経て、上田市（都市建設部土木課）の「城下地区排水対策事業・御所沢防災調整池整備工事」として令和6年度・7年度で施工されました。（総事業費は、約1億9千万円）
- 市の実施計画に基づく城下地区排水対策事業においては、3か所の調整池整備が位置づけられております。この度の御所沢調整池の完成により、既に整備された諏訪形金窓寺川調整池に次いで2施設が稼働となりました。
- 調整池は、降雨ピーク時において雨水を一時的に貯留し、その後緩やかに排水する構造となっており、これにより下流域の浸水被害の軽減を図ることにつながります。



着手前



令和6年10月

完成



令和7年11月

城下地区社会福祉協議会住民会議 (高齢者疑似体験)

- ・日 時 令和7年11月15日(土)
- ・場 所 城下地区防災センター
- ・テーマ 高齢者疑似体験
- ・出席者 自治会長、福祉推進委員、未来会議役員他



内 容

私たちの成長において、高齢化は誰もが避けることはできないものです。高齢化による身体の老化現象を疑似体験することにより、身体的不自由さや高齢者の心情を理解し、高齢者への思いやりの心を育てることを目的として行われました。

上田市社会福祉協議会 萱津会長のご挨拶、社協担当職員 加藤さん、新聞さんから「ユニバーサルデザイン」の講話、疑似体験の目的や内容説明をお聞きした後、参加者は2人ペアで体験セット(膝・肘サポーター、ゴーグル、手袋等)を装着して、新聞を読んでいる、箸を使って物をつかんでみる、新聞紙を束ねて指定の場所まで運ぶ等の体験をしました。

参加者された皆さん「気持ちに反し、身体が動かない」など、やがて訪れるその時を身をもって経験することができました。

城下地区防災倉庫を設置しました

本年1月、災害発生など非常事態へ備えるため、JA城下店の施設を借用して防災倉庫を設置しました。

防災倉庫内には、土^ど囊^{のう}づくりに必要な土砂、袋、スコップなどの資機材のほか、クイックテント、非常灯等の備品を順次整備することを計画しております。



これにより、既に設置した城下地区防災センター敷地内の防災倉庫と合わせ2施設となりました。本格的な運用は、本年4月以降の予定です。

令和8年度 城下地区自治会連合会役員紹介 (敬称省略)

令和8年度城下地区自治会連合会の役員が、次のとおり決まりました。1年間お世話になります。よろしく願い申し上げます。

役 職 名	氏 名	自 治 会	役 職 名	氏 名	自 治 会
会 長	坂 口 澄 夫	朝日ヶ丘	評 議 員	伊 藤 淳 一	諏 訪 形
副 会 長	黒 田 敏 子	中 村	評 議 員	青 木 信	須 川
副 会 長	濱 村 光 祐	千 曲 町	監 事	池 内 修 二	御 所
会 計	山 崎 幸	小 牧	監 事	武 井 孝 夫	中 之 条
防災センター管理 評 議 員	堀 内 紀 男	三 好 町	顧 問	関 雅 裕	千 曲 町